



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日
東

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼グループCEO (氏名) 若山 健彦
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 三宅 哲史 (TEL) 03-5733-1710
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 4,918 | △18.7 | 314 | 84.7 | 341 | 31.7 | 911 | 514.3 |
| 2023年3月期第1四半期 | 6,048 | 1.2 | 170 | 38.4 | 259 | 130.5 | 148 | 113.5 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 971百万円(517.0%) 2023年3月期第1四半期 157百万円(22.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 122.07 | 121.50 |
| 2023年3月期第1四半期 | 19.79 | 19.73 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 14,909 | 5,248 | 35.1 |
| 2023年3月期 | 14,381 | 4,383 | 30.1 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,238百万円 2023年3月期 4,326百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,000 | 1.8 | 900 | 11.1 | 850 | △5.1 | 1,450 | 145.5 | 194.49 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 7,857,714株 | 2023年3月期 | 7,822,014株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 391,980株 | 2023年3月期 | 366,780株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2024年3月期1Q | 7,465,409株 | 2023年3月期1Q | 7,497,229株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行など社会環境の変化に合わせて、個人消費と企業活動に緩やかな回復がありました。世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や、米中対立、欧米を中心とする金利上昇に伴う経済の減速懸念等、不透明さが継続しております。

当社グループの主要な市場におきましては、前期までの世界的な半導体不足の緩和は見られたものの、特にPC・サーバー需要の減速に伴う部品調達の調整や製品の在庫調整の動きが継続しております。一方で、eスポーツ・タブレット関連製品等などのデジタル関連機器、企業の設備投資やシステム投資に関連する製品・サービスへの需要は引き続き底堅く推移しております。

このような状況のなか、当社は、デジタル分野において他企業との連携やM&Aを進めることでコンソーシアム(共同体)を形成し、これを拡大することでシナジーを創出し企業価値を高めていくことを柱とする「デジタルコンソーシアム構想」を成長戦略として位置付け、「デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する」というビジョンを推進しております。

なお、当社の連結子会社である日本ジョイントソリューションズ株式会社は2023年4月3日、株式会社リバーズ(以下、「リバーズ」といいます。)の全株式を取得し、当社の連結子会社化をいたしました。リバーズが当社グループに加わることにより、今後成長が期待されるWebサイトの構築や広告の制作プロデュース及びマーケティングのコンサルティング事業において、これまで以上に付加価値の高いサービスや最適なソリューションの提案が可能となり、当社グループの企業価値向上に資するものと見込んでおります。

また、当社は2023年6月1日、成長分野へ経営資源を重点的に配分することが当社グループ経営において重要であるとする認識のもと、連結子会社である株式会社クレイトソリューションズ(以下、「クレイトソリューションズ」といいます。)について、当社が保有する全株式を株式会社SHIFTグロース・キャピタルに譲渡いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,918百万円(前年同期比18.7%減)となりました。利益につきましては、営業利益は314百万円(前年同期比84.7%増)、経常利益は341百万円(前年同期比31.7%増)、また、クレイトソリューションズの全株式を譲渡したことから関係会社株式売却益1,279百万円を計上したこと、及び、当社の取引先であるFCNT株式会社による民事再生手続き開始申し立てを受け、同社に対する債権について取立不能または取立遅延のおそれが生じたこと、同社から受注した取引に関連する棚卸資産について収益性の低下のおそれが生じたことから特別損失(貸倒引当金繰入額および棚卸資産評価損)259百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は911百万円(前年同期比514.3%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、メーカー等の製品に組み込まれる法人向け製品・部品等の開発・製造・販売を担う「デジタルデバイス」、デジタル分野における技術を基盤とする製品・サービスの開発・製造・販売を担う「デジタルエンジニアリング」、法人・個人に対して最終製品として供給されるデジタルおよびコミュニケーション関連機器および関連サービスの提供を担う「ICTプロダクツ」、および「その他」の4セグメントにおける報告セグメントに変更を行いました。それに伴い前年同期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えて表記しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」に記載のとおりであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①デジタルデバイス

主要製品のDIMM(Dual Inline Memory Module)及びSSD(Solid State Drive)の主要調達部材である半導体メモリー製品のDRAM、NANDにおいては、スマートフォンやPC、サーバーなどを取扱う大手メーカーで引き続き在庫・生産の調整を行っている為、取引価格下落が継続しております。この状況のなか、顧客企業各社での在庫調整含む需要減少から、前年同期を下回る売上となりました。一方で、新規案件の獲得や、利益率の高い自社ブランドであるメモリーモジュール製品での販売が利益確保に寄与しました。

これらの結果、デジタルデバイスのセグメント売上高は2,102百万円(前年同期比33.9%減)、セグメント利益は224百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

なお、デジタルデバイスの一部を形成する、サンマックス・テクノロジーズ株式会社とジー・ワーカー株式会社は、2023年4月1日付けで合併をし、新生「サンマックス・テクノロジーズ株式会社」として営業を開始しました。

②デジタルエンジニアリング

ROM書込みサービスでは日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカーに向けたプロジェクトは、前期増設をしたオートハンドラの稼働率も上がり、売上・書込み数量ともに堅調に推移しました。今後の需要拡大に備えた、横浜市にある社屋建て替え工事、ROM書込みに必要なオートハンドラやデバイスプログラマ等の大規模な設備投資につきまして計画通り進捗しております。

デバイスプログラマ事業では、デバイスプログラマ及び変換アダプタ関連の販売が堅調に推移し、EMS会社へのオートハンドラの納入などもあり、前年同期を上回る結果となりました。

ディスプレイソリューション関連では、超薄型サイネージ「WiCanvas」は大手GMS、店舗、ショールームなどへの多店舗導入があり堅調に推移しましたが、ATM向けタッチパネルの顧客在庫調整があり、前年同期を下回る結果となりました。

ソフトウェアやハードウェアの設計・開発を行うエレクトロニクス設計事業では、コロナ禍で控えられていた開発案件が徐々に増加してきております。

インテリジェント・ステレオカメラ事業では、引き続き半導体不足による部品調達遅延により、量産に向けたスキーム構築は遅れておりますが、既存企業との事業推進に注力してまいります。

これらの結果、デジタルエンジニアリングのセグメント売上高は804百万円（前年同期比65.0%増）、セグメント利益は337百万円（前年同期比342.0%増）となりました。

③ICTプロダクツ

テレワークソリューション事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行など社会環境の変化に合わせてオフィスへの人の回帰が本格的に進み始めたことにより、オフィスにおける据置型会議システム端末の需要が本格的に回復し、販売実績は堅調に推移しました。また、Web会議用ライセンスおよびWebカメラ、高性能ヘッドセット等については、前期から引き続き堅調な販売実績となりました。

デジタル関連機器事業におきましては、例年需要が軟調な時期であるため、際立った引き合い等は見られませんでした。eスポーツ関連のヘッドセットやキーボード、PC周辺機器関連ではタブレット端末用ケースなどについては前期から継続して堅調な販売実績となりました。

利益面におきましては、前年同期に円安や原材料コスト高を主因とする調達コスト高騰による苦戦を強いられましたが、当期間では価格改定などの対応により大きく改善しました。前期後半より取り組んだ販管費削減の効果も本格的に発現し、セグメント利益の大幅な改善に大きく寄与しました。

これらの結果、ICTプロダクツのセグメント売上高は1,706百万円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は79百万円の損失）となりました。

④その他

その他では、Webサイトの構築や広告の制作プロデュース及びマーケティングのコンサルティング事業、システム構築や技術者派遣事業、国内外のベンチャー企業や太陽光発電事業等への投資及び財務・金融等に関するコンサルティング事業などの様々な事業を手掛けております。

なお全株式を譲渡したクレイトソリューションズにつきましては2023年6月より連結範囲から除外しております。

これらの結果、その他のセグメント売上高は442百万円（前年同期比21.6%減）、セグメント利益は37百万円（前年同期比36.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、12,051百万円となりました。これは、売掛金が671百万円、商品及び製品が385百万円減少したものの、現金及び預金が1,155百万円、営業投資有価証券が105百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて14.7%増加し、2,857百万円となりました。これは主に、有形固定資産その他(純額)が323百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、14,909百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.4%減少し、7,965百万円となりました。これは、未払法人税等が407百万円増加したものの、短期借入金が1,000百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて40.4%増加し、1,695百万円となりました。これは、長期借入金が469百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、9,660百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて19.7%増加し、5,248百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が911百万円計上されたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月19日に公表しました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,389,777 | 4,544,879 |
| 電子記録債権 | 297,743 | 300,790 |
| 売掛金 | 3,295,873 | 2,624,567 |
| 契約資産 | 102 | — |
| 営業投資有価証券 | 155,695 | 261,680 |
| 商品及び製品 | 2,818,337 | 2,432,353 |
| 仕掛品 | 62,208 | 59,162 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,012,284 | 1,036,036 |
| 前渡金 | 78,804 | 48,111 |
| 前払費用 | 436,824 | 476,738 |
| その他 | 365,585 | 287,635 |
| 貸倒引当金 | △22,633 | △20,111 |
| 流動資産合計 | 11,890,604 | 12,051,844 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 617,589 | 560,695 |
| 減価償却累計額 | △429,601 | △393,612 |
| 建物及び構築物（純額） | 187,988 | 167,082 |
| 土地 | 649,668 | 633,104 |
| その他 | 1,285,530 | 1,588,425 |
| 減価償却累計額 | △863,137 | △842,980 |
| その他（純額） | 422,392 | 745,444 |
| 有形固定資産合計 | 1,260,048 | 1,545,632 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 205,377 | 178,266 |
| その他 | 43,879 | 47,617 |
| 無形固定資産合計 | 249,257 | 225,884 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 221,388 | 268,819 |
| 敷金及び保証金 | 460,231 | 483,864 |
| 破産更生債権等 | 38,964 | 171,411 |
| 繰延税金資産 | 122,026 | 156,250 |
| その他 | 238,191 | 237,723 |
| 貸倒引当金 | △99,286 | △231,733 |
| 投資その他の資産合計 | 981,515 | 1,086,335 |
| 固定資産合計 | 2,490,821 | 2,857,852 |
| 資産合計 | 14,381,426 | 14,909,696 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,183,920 | 1,101,790 |
| 短期借入金 | 5,620,000 | 4,620,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 412,168 | 439,193 |
| リース債務 | 450 | 186 |
| 未払金 | 492,299 | 352,220 |
| 契約負債 | 647,963 | 649,553 |
| 未払法人税等 | 83,722 | 491,232 |
| 製品保証引当金 | 993 | 841 |
| 賞与引当金 | 97,537 | 18,448 |
| その他 | 230,646 | 272,253 |
| 流動負債合計 | 8,789,700 | 7,965,720 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,048,757 | 1,518,690 |
| リース債務 | 265 | 184 |
| 退職給付に係る負債 | 38,907 | 42,248 |
| 繰延税金負債 | 9,216 | 23,488 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 94,429 | 94,429 |
| その他 | 16,200 | 16,200 |
| 固定負債合計 | 1,207,775 | 1,695,240 |
| 負債合計 | 9,997,476 | 9,660,960 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,063,128 | 1,071,250 |
| 資本剰余金 | 1,460,306 | 1,468,428 |
| 利益剰余金 | 1,887,733 | 2,723,845 |
| 自己株式 | △162,651 | △162,651 |
| 株主資本合計 | 4,248,517 | 5,100,872 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 58,591 | 116,055 |
| 土地再評価差額金 | 8,444 | 8,444 |
| 為替換算調整勘定 | 11,175 | 13,158 |
| その他の包括利益累計額合計 | 78,211 | 137,658 |
| 新株予約権 | 13,165 | 8,988 |
| 非支配株主持分 | 44,056 | 1,215 |
| 純資産合計 | 4,383,950 | 5,248,735 |
| 負債純資産合計 | 14,381,426 | 14,909,696 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 6,048,801 | 4,918,592 |
| 売上原価 | 5,005,184 | 3,625,482 |
| 売上総利益 | 1,043,616 | 1,293,109 |
| 販売費及び一般管理費 | 873,446 | 978,834 |
| 営業利益 | 170,170 | 314,275 |
| 営業外収益 | | |
| 受取賃貸料 | 3,488 | 135 |
| 為替差益 | 94,974 | 40,825 |
| 補助金収入 | 220 | — |
| その他 | 5,067 | 6,187 |
| 営業外収益合計 | 103,750 | 47,147 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,084 | 7,770 |
| 株式報酬費用消滅損 | — | 6,359 |
| その他 | 5,151 | 5,364 |
| 営業外費用合計 | 14,236 | 19,494 |
| 経常利益 | 259,685 | 341,929 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 181 | 4,684 |
| 関係会社株式売却益 | — | 1,279,328 |
| 新株予約権戻入益 | 155 | 392 |
| 特別利益合計 | 336 | 1,284,405 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,442 | 328 |
| 特別退職金 | 14,068 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 132,582 |
| 棚卸資産評価損 | — | 126,793 |
| 特別損失合計 | 17,511 | 259,703 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 242,510 | 1,366,630 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 49,049 | 540,659 |
| 法人税等調整額 | 43,178 | △85,734 |
| 法人税等合計 | 92,228 | 454,924 |
| 四半期純利益 | 150,282 | 911,705 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,926 | 424 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 148,355 | 911,281 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 150,282 | 911,705 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,673 | 57,463 |
| 為替換算調整勘定 | 5,452 | 1,983 |
| その他の包括利益合計 | 7,125 | 59,447 |
| 四半期包括利益 | 157,408 | 971,153 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 155,481 | 970,728 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,926 | 424 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | デジタルデバイス | デジタルエンジニアリング | ICTプロダクト | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,131,517 | 479,345 | 1,891,027 | 5,501,889 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 49,853 | 8,247 | 82,429 | 140,530 |
| 計 | 3,181,370 | 487,592 | 1,973,456 | 5,642,420 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 287,610 | 76,332 | △79,709 | 284,233 |

(単位：千円)

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益計 算書計上額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 546,911 | 6,048,801 | — | 6,048,801 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 17,534 | 158,064 | △158,064 | — |
| 計 | 564,446 | 6,206,866 | △158,064 | 6,048,801 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 58,818 | 343,052 | △172,881 | 170,170 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△172,881千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | デジタルデバイス | デジタルエンジニアリング | ICTプロダクツ | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,006,702 | 804,027 | 1,667,536 | 4,478,265 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 95,828 | 474 | 39,430 | 135,733 |
| 計 | 2,102,530 | 804,501 | 1,706,967 | 4,613,999 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 224,100 | 337,385 | 1,185 | 562,671 |

(単位：千円)

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益計 算書計上額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 440,327 | 4,918,592 | — | 4,918,592 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,274 | 138,007 | △138,007 | — |
| 計 | 442,601 | 5,056,600 | △138,007 | 4,918,592 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 37,523 | 600,195 | △285,919 | 314,275 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△285,919千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社クレイトソリューションズの株式を売却し連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「その他」のセグメント資産が825,881千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は中期経営計画2027に示す重点テーマに基づき、「デジタルコンソーシアム構想」の実現を目指しており、また、2023年6月1日付で、当社連結子会社であった株式会社クレイトソリューションズについて当社が保有する全株式を、株式会社SHIFTグロース・キャピタルに譲渡いたしました。

これらに伴い、報告セグメントの見直しを行った結果、2024年3月期第1四半期より以下のとおり報告セグメントを変更いたしました。

- ・「メモリーモジュール事業」を「デジタルデバイス」に名称変更。
- ・「デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業」を「デジタルエンジニアリング」に名称変更し、従来「その他事業」に属していた株式会社エクスプローラを「デジタルエンジニアリング」に移管。
- ・「テレワークソリューション事業」と「デジタルデバイス周辺機器事業」を「ICTプロダクツ」に統合。
- ・「システム開発事業」を廃止し、「その他」に組み込む。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。